

介護職員等のための 医療の基礎知識講座 開催要綱

趣旨 介護を必要とする利用者は様々な疾患を抱えており、介護職員には、利用者の状態を観察し、医療職と適切に連携することが求められます。本講座は、介護職員等が医療の基礎知識を習得することを目的に開催します。

<この研修のポイント>

- 医療的視点を学習することで根拠に基づいたケアを提供できます
- 医療職と連携する際に、役立つ知識が得られます
- 適切な気づきと対応を学ぶことで、利用者へのケアの質の向上につながります

<こんな方におすすめ>

- 高齢者の心身の変化、疾患について、基礎から理解を深めたい方
- 日常のケアに活かせる医療的知識を学びたい方
- 医療職との連携を円滑に行うための基礎的な考え方を学びたい方

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

高齢者・障がい者施設等に勤務する介護職員
本講座の内容に関心のある看護師、栄養士、相談援助職員等

配信期間

令和8年6月10日（水）～7月31日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和8年4月10日（金）～5月8日（金）

受講可否

令和8年5月15日（金）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約60分	講義1 「高齢期の心身機能の変化と生活への影響」	<p>介護職員が医療知識を身につける必要性について理解するとともに、高齢者に特有の心身機能の変化や特徴を学びます。</p> <p>加齢に伴う身体機能の変化を踏まえ、なぜ機能低下が起こりやすいのか、その背景や要因を整理します。</p> <p>あわせて、生活環境や日常のケアが心身機能に与える影響について考え、日常業務のなかで留意すべき視点を身につけます。</p>
約90分	講義2 「高齢期に多い疾患と治療・ケアの基本理解」	<p>高齢者に多くみられる疾患や症状について学び、それぞれの原因や治療、介護現場で求められる支援を再確認します。</p> <p>また、ケアのポイントを整理することで、適切な観察や対応につなげる力を養います。</p>
約90分	講義3 「利用者の観察に求められる視点と医療との連携」	<p>バイタルサインの基本的な理解をはじめ、介護職員が日常の関わりのなかで行うべき状態観察の視点について学びます。</p> <p>さらに、介護と医療の連携のあり方について、具体的な事例を通して、適切な報告・相談の方法や役割分担を理解することで、安心・安全なケアの実践を目指します。</p>

※本研修は、令和7年度に実施した「介護職員等のための医療の基礎知識講座」と同内容です。